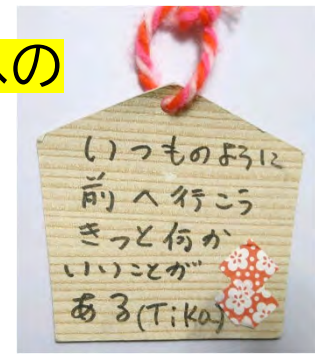


# ちば認知症オレンジ大使 ただおさん



次に続く人への  
メッセージ



## 略歴

- ・62歳のときにアルツハイマー型認知症と診断される。
- ・もの忘れ外来受診にあたり、会社に迷惑はかけられないと自主退職する。その後妻と近所のジムに通い始め、ジョギングやマラソンの楽しさに目覚める。現在も年7~9回マラソン大会に出場している。
- ・2015年から若年性認知症専門デイサービスに通所、そこで臨床美術と出会い、苦手だったアートへ興味を持つ。

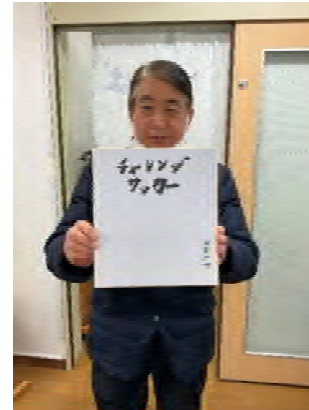
## メッセージ

人の役に立ちたい。認知症を発症したとき、自分も家族も居場所がなかった。出来ることは何でも挑戦したい。自分が発信することで世間の認知症の人に対する偏見が少しでも少なくなれば良い。又、若年性認知症の人は体力も充分あるので、アクティブに活動出来る居場所ができればいいと思っている。

## 日々の暮らし



お正月はお天気が良かったので高尾山登山、気持ちよい汗をかきました



今年の抱負: 昔やっていたサッカーにチャレンジしたい!



クリスマスカード作成中。何時も素敵な作品が誕生!(あしたば工房にて)



手元のビンゴが揃い、プレゼントに思わずにんまり(クリスマス会にて)

## 活動



施設と隣接する公園のゴミ拾いを行っています(社会貢献活動)



沢山の方に積極的に声を掛け、充実した活動となりました(共同募金活動)



千葉県庁で、大使としてインタビューを受けました!

# ちば認知症オレンジ大使 のりこさん



## 次に続く人へのメッセージ

大使になって、色々な活動を行い、それを通じて、たくさんの人と出会えました。

### 日々の暮らし

- ・51歳頃、若年性アルツハイマー型認知症と診断される。
- ・趣味は美術館めぐりと20年続けているフルート演奏



自宅でフルートを練習



令和4年11月のフルート発表会



日常生活をサポートしてくれるケアマネの松本さん



愛犬と暮らしています



委嘱式でフルートを発表！知事に会えて嬉しかった！チーバくと記念撮影



地元の研修に登壇しました。



大使の活動を薦めてくれて、活動をサポートしてくれる地域包括支援センターの田嶋さん

### 大使としての活動

#### 【きっかけ】

会社のことでつらい思いをしている時、地域包括支援センターの方が「若くて、動けるのりこさんに出来ることはいっぱいある」と思い、大使の活動を薦めてくれたことがきっかけです。

認知症になって自身が感じていることや体験を伝えていきたい。忘れたり、慌てたりすることも多いけれど、色々な人の力を借りながら自分らしく過ごせていることを伝えたい。